

草加を再発見するフリーペーパー

草 生人

そうせいじん

「今様・草加宿」 のきほん

インタビュー

「今様・草加宿」市民推進会議 前会長 岡野喜一郎さん
草加宿神明庵運営協議会 会長 青柳 優さん

●草加の元気人！●

社会福祉法人 草加市社会福祉事業団

障害福祉サービス事業所 つばさの森 前所長 宮田敏男さん

草加イベントレポート 2014年1月～3月

2014 / 初夏

「今様・草加宿」の

きほん

「今様・草加宿」とは何だろうか。市内の案内板にあるロゴを見てみると、草加市観光のキャッチフレーズのようになっている。しかしこれは、市民が作成したビジョンを元に、市が推進している都市再生計画の名称なのだ。そして今、計画は着実に進んでいる。ビジョン作成の中心人物である岡野氏と、草加観光の要「神明庵」の青柳氏にお話を伺った。

「今様・草加宿」のきほんを、知ろう。

都市再生事業計画「今様・草加宿」の対象エリアは、草加駅東口側を南北に通る旧日光街道を中心とした「旧町地区」と、国の名勝の指定を受けた草加松原周辺の「綾瀬川左岸地区」。

この2つのエリアを草加市の「都市再生軸」に据えた「まちづくり」計画は今、着実に具体化している。草加というまちのルーツは400年前、江戸時代に拓かれた日光道中第二の宿場「草加宿」にある。旧町地区は、かつての宿場町の名残を活かして、市民や草加を訪れた人がゆったりと楽しく歩けるまち、おもてなしの心が伝わってくるようなまち、まさに「今様」の「草加宿」を目指している。

綾瀬川左岸地区には、今年の3月に国の名勝に指定された「草加松原」、ふるさとの川「綾瀬川」、そしてさまざまなイベントで賑わう「綾瀬川左岸広場」がある。水と緑を活かし、文化や観光の拠点として

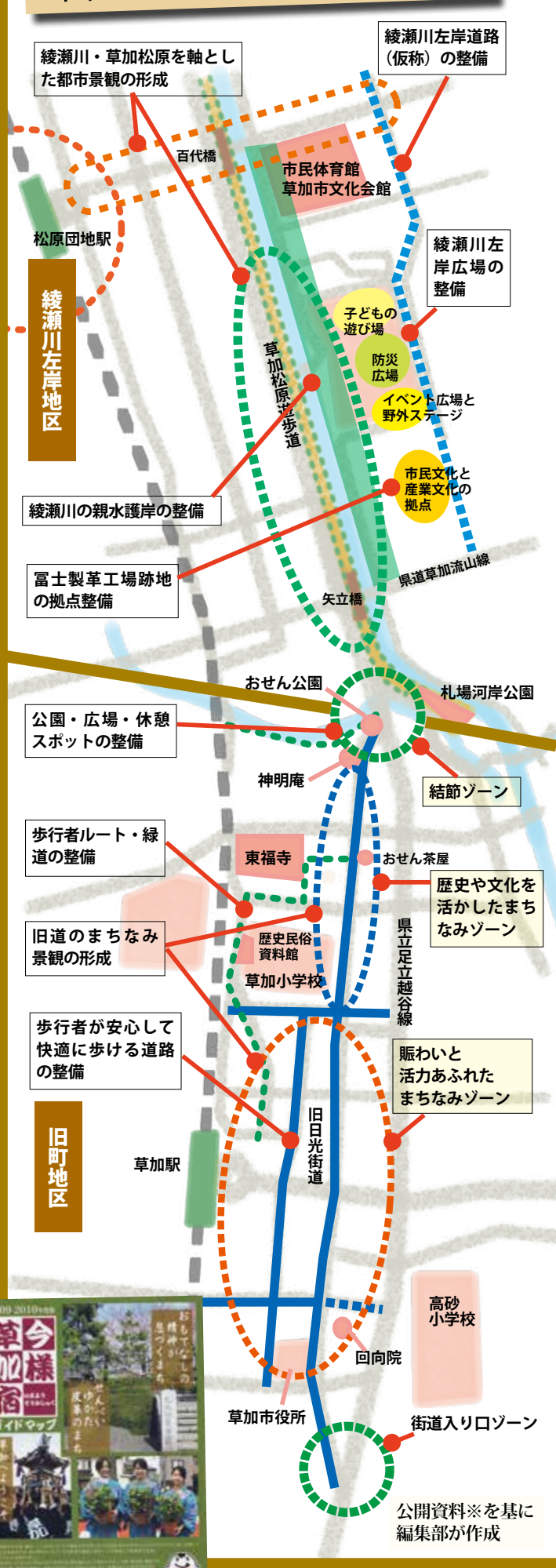
もますます重要になるエリアである。

両エリアでは同時並行的に開発事業がどんどん進められ、さきごろ新たに左岸広場には防災公園が完成するなど、新鮮な景観が出現しつつある。

この事業計画の大きな特徴は、行政と市民団体ががっちり手をとりあって推進しているところにあると言えるだろう。市民団体「今様・草加宿」実行委員会」が市民たちの知恵を集め、苦勞の末に平成17年今様・草加宿の「ビジョン」を市に提出、その年から「今様・草加宿」事業推進計画はスタートした。実行委員会はその後「今様・草加宿」市民推進会議」に組織を変更し、草加市と密接に連携し、事業の推進を見守り続けている。

今年、「今様・草加宿」事業は10年目を迎えた。「今様・草加宿」とは何か、インタビューを通じて知って欲しい。

「今様・草加宿」ビジョン地図



今様・草加宿のパンフレット、ゾーン別にさまざまな観光資源やお店の紹介がされている。

まちづくり事業の ウオッチャーに なるうと思つた

「今様・草加宿」
市民推進会議 前会長
岡野喜一郎さん



「今様・草加宿」はまちづくり・まちおこしの草加代表チーム

昨年（2013年）の10月21日、市職員4人を含む十数人の集団が旧日光街道（草加駅東側の市役所前を通って北へ延びる商店街）を歩いた。

市職員は、旧日光街道のうち街の中心部の一部で拡幅工事が近々開始されると説明した。とくに歩道部分の広がりが大きく、電線が地下埋設されるため、歩行者にとって歩きやすく、ゆつたりとした商店街になるだろう。

その説明を聞きながら、参加者たちは、ようやくここまでできたか、という反応を示した。

その後、商店街の道路の舗装、街灯、案内看板、新設された公園など、さまざまなスポットについての説明を聞いたり、観光客のための休憩所「神明庵」に立ち寄りたりしながら、綾瀬川左岸広場にたどり着いた。

そこは広場の南側に広大な公園が増設されて

いるところだった。市職員が図面を広げて、計画の経過を説明してくれた。左岸広場の東側では、南北に走る新しい道路を建設する工事も行われている最中であつた。

一同は左岸広場に隣接する松江北町公会館にたどり着いた。公会館の会議室にはすでに大勢待つている人がいた。会議が始まった。出席者たちは皆草加のまちづくり、まちおこしに平日頃尽力しているキーマンたちだった。

この集まりは「今様・草加宿」市民推進会議だ。岡野喜一郎会長の開会宣言で、毎月開催される定例会が始まった。

「今様・草加宿」という言葉は、草加市民にどれくらい浸透しているのだろうか。松尾芭蕉のイラストとともにこの言葉が書かれている道案内の看板がいたるところに設置されている。草加観光のキャッチコピーのようなものだと思つている人は多いのではないだろうか。

定例会で各部会ごとに発表される活動内容と

成果を聞いて、「今様・草加宿」の大きさが明らかになってきた。その正体は、行政と市民が協力して推進する大規模なまちづくりプロジェクトなのであつた。

その内容は、旧日光街道の整備、公園や休憩スポットの創出、旧道沿いの歴史的建築物の保存、旧日光街道や左岸広場などでのイベントの実施、防災広場の整備など多岐に渡る。

また、市民推進会議のメンバーは、町会や自治会、まちづくり協議会、商店会、商工会議所、青年会議所など、草加のあらゆる市民活動の代表者たちから構成されている。サッカーでたとえれば、クラブチームのトップ選手から構成される日本代表チームのようなもの。つまりまちづくり・まちおこしの草加代表チームだ。

プロジェクトの意義や経緯について、「今様・草加宿」市民推進会議の会長を長く務められた、岡野喜一郎さんにお話を伺った。

草加はいろんな意味ですべてが変わった

岡野さんは昭和6年生まれの83歳。江戸時代から草加に居を構える旧家、岡野家の当主である。

岡野さんは子供のころの草加の風景を鮮明に記憶している。

たとえば東京の中学校（慶應義塾普通部）に通学するときの、早朝の草加駅のホームからの景色だ。

「草加駅は今と全く違ってホームの向こう側は塀も何もありませんからずーっと見渡す限り田んぼです。ぼつんぼつんと農家があつてその向こうに草加神社。氷川様っていいます。

あの社と立木がずーつとね、墨絵のように見えるんだ」

草加は小さい町だった。戦後、商業や工業を盛り上げて、人が集まつてきた。昭和30年、草加町・谷塚町・新田村が合併し、草加町となる。そして昭和33年11月1日、市制施行により草加市となって、人口がますます増えて活気のある町に成長してきた。

それとともに草加は変わってきた。その大きな原因は人口増だった。

「大きい人口をどうやって町が収容し、かつまた華やかにしていくことについては、いろんな意味で政治の世界も役所の世界もがんばつてくれたと思うけれど、そのうち、草加の駅前再開発というのがあつて、それで今のアコスができた。丸井もできた。あれは草加市にとって一大事業。いろんな意味ですべてが変わつたのがあのとき」

どう変わったのか。いい方向にばかり変わったとは言いがたい。「今様・草加宿」事業推進計画」という文書に以下のような考察がある。

「旧道沿いの商店街は草加市の中心商業地として繁栄してきました。しかし、近年は買物客が駅前の大型店や周辺の食品スーパーマーケット、ロードサイド型店舗に分散するな



「おせん公園」にある案内板。「おせんべい発祥の地」の石碑がそばにあり、おせんべいの作り方が紹介されている。

ど、商店街としての活気が失われつつあることから、旧道の歴史や文化を活用した個性ある商店まちづくりや地域に根ざした様々なサービスの向上などに取り組む必要がある。」

そもそも草加は、江戸時代に日光街道の宿場町として栄えた歴史のある町である。

「江戸から出て2番めの宿場になったのが400年くらい前の話なんだ。あのころは草加も非常に賑やかだったんだ」と岡野さんも言う。



歴史民俗資料館。旧草加小学校校舎を利用。県内初の鉄筋コンクリート製の建物である。

1606年、大川図書が近隣の人々と力を合わせ、大部分が沼地だった土地を埋め立て、道路の造成に着手し、1630年、日光街道の宿場と幕府から公認された。その後参勤交代や日光へのお参りの宿場町として、また綾瀬川などの舟運の河岸としても賑わい、発展してきた。岡野さんは「草加は宿場町なんだ」と強調する。

草加のまちとしての個性は、江戸時代からの草加の歴史・文化にある。草加は旅人を温かく

迎える「もてなし」の精神に富んだ宿場町だったのだ。草加のまちづくりを考える人たちは、みなさんそんなイメージを共有しているようである。

今様・草加宿は小泉構造改革の一環

平成15年の8月。岡野さんは当時の草加市長から、「今様・草加宿」実行委員会を立ち上げて、旧町と松並木の左岸広場を整備するために尽力してほしいと要請された。

このプロジェクトは、実は小泉政権の時代に実施されたいわゆる「小泉構造改革」の目玉のひとつ「中央から地方へ」という政策の一環であった。

国からの「地域再生計画」の公募に対して全国の自治体が名乗りを上げた。草加市は「今様・草加宿」計画を提出しようと考えた。審査のうえで認定されれば、国からの支援策(交付金など)を得ることが認められる。

岡野さんに白羽の矢が立てられたのは、草加市の青年会議所設立の支援をして3代目の理事長を勤めたり、「TSSC(高砂住吉中央)地区まちづくり市民会議」を運営したりと、市民活動、まちづくり活動の実績があったためだ。

「私と、それから四・五・六丁目まちづくり協議会会長の山川令子さんが呼ばれたの」と岡野さん。



山川令子さんは熱心な草の根市民運動家だったが惜しくも平成19年に亡くなった。埼玉県議会議員の山川百合子さんのお母様である。

「あと、松並木の先まであまだこうだ言うのはおこがましいと、それをやるんだったら1人だけ知ってる人がいる」と、中根町会の会長だった田川清さんも加えた。

3人を中心に、実行委員会をスタートした。

50回を超える会議を経て「ビジョン」を制作

実行委員会は、活発に活動を進めた。まず、ほんの2か月ほどの準備期間で筑紫哲也氏の講演会と草加宿場まつりを開催し、レポートをまとめる。

「始めてたった2か月でそういうイベントをやって報告書を作りました。全部写真に撮ってコメントも入れて、自分たちがなにをやりたいかということも全部入れて。それを行政が整理して作ってくれた。で内閣府に提出したわけです」

こうして平成16年6月21日、「今様・草加宿」地域再生プロジェクトは、内閣府の地域再生計画の認定(第1号)を受け、内閣総理大臣(当時は小泉純一郎氏)から認定書が授与された。国からの交付金33億円と市と県の予算を加え、約146億円という大きな規模の予算で、平成17年度から平成27年度にわたる「今様・草加宿」事業がスタートすることになった。

この認定獲得に尽力した「今様・草加宿」実行委員会は、さらに活動を加速する。まずメンバーの充実を図った。

「それまでのメンバーはいろんな会の長の方々を集めたお仕着せの会だった。それで新しい人

に入っていただきましよう」と公募したわけ」

優秀なメンバーが加わり、旧道部会、松原左岸部会、企画広報部会という3つの部会を立ち上げた。

それぞれが所属する方々の意見を入れながらビジョンを作ろうということにした。平成16年の夏頃だ。

「なんとね、50何回やったよ会議を。みんな夜だよ。よくやったなと思うよ」

そして翌平成17年の3月にビジョンをまとめ、草加市長に提出した。『今様・草加宿』地域再生ビジョン』だ。

基本的な考え方はこうだ。

「今様・草加宿は、草加市のシンボルである松並木を中心に、旧町地区と綾瀬川左岸地区をひとつの都市軸として捉え、スローライフの視点を織り込みつつ、草加固有の歴史と文化を活かしながら、この時代にふさわしい、個性と活気あふれる草加市のシンボルゾーンとして再生することを目標とする。さらに、「ゆっくりとした時間」、「ゆったりとした空間」を創出し、住んでよく、来てみて楽しいまちづくりを進めていく。」「今様・草加宿」地域再生ビジョン』より」





はみんな予算を市がつけて、商店会や商工会にコンサルタントをつけて作成したものだ。それを見た岡野さんは悟った。まちづくり事業の多くは、報告書を作って終わりになってしまっているのではないかと。

「結局俺達も悪いんじゃないかと。いつも言うだけ言って終わらなんだ」
その体験を踏まえて、「TSC地区まちづくり市民会議」は今も活発な活動を継続している。そして、今度は今様・草加宿のビジョンだ。たしかに力強い提案を市に提出したが、それで終わってしまったのではないだろうか。

この「ビジョン」は、草加市の現状分析から始まり、旧日光街道を中心とした旧町地区（草加駅東口）から綾瀬川左岸広場にいたる草加の中心軸の開発プラン、にぎわいを生むためのイベント創出、産業の育成など、具体的なアイデアを、写真や地図を豊富に利用しながら提示している、力作である。

「これを出したときにもうやめようかと思ったんです。実行委員会は解散しよう。自分たちもお祭りもやったしイベントもやったし、思いもすっかり伝えたから」

だが、やめなかった。その理由は、「TSC（高砂住吉中央）地区まちづくり市民会議」が発足した事情と関わる。

今から十数年前のこと、草加でパートナーシップによるまちづくりが謳われ始めたとき、市から岡野さんに、まちづくりのプロジェクトにエントリーしてくれという打診があった。そこで関係者を集め、市の担当者による説明を聞く会を設けた。

担当者は16冊もの報告書を持ってきた。それ



も草加の重要なシンボルと位置づけられている。

これから観光客がどんどん増えていくことが見込まれるとき、旧道から草加松原周辺への回遊性が確保され、綾瀬川左岸広場が整備されて生まれ変わることは必要不可欠な事項である。「今様・草加宿」プロジェクトの完成は草加の産業、観光、文化関係者たちや一般市民たちからも大きな期待がかかっている。

草加松原は江戸時代から続く名所であり、草加最大の観光スポットである。

「僕らが小学生のころは向こうが見通せないほど鬱蒼として、追い剥ぎが出るほどだった」と岡野さんが想い出を語るほどの松並木だが、1970年代に「排気ガスと近所の工場のガスとで、もうみんな枯れちゃって見る陰もなくなつた」という。

「八百何十本もあったのが百本ぐらいになつ



札幌河岸公園にある「正岡子規句碑」

ちやつたんだから。ひどかつたですよ」

見るに見かねた当時の青年会議所のメンバーたちの間で、あれはなんとかしなくてはいけないという気運が起こった。

松の苗木を調達することができたので、河川を管理する江戸川工事事務所に、自分たちで植えてもいいかどうか、お伺いを立てた。

「そしたらえらい怒られちゃってね、1級河川の土手に穴あけるなんて絶対認めない、ということだったんですよ」

だが、岡野さんたちは諦めなかった。有志のメンバーたちが集まり、江戸川工事事務所が見回りに来ない日の夜を選んで、ゲリラ的に松を植えるという暴挙に出た。

そして結局追認されるような形で松並木保存会が設立され、いまや634本にまで増やすことができた。

「あの当時のことを思い出すと、まあ若気の至りというかよくやったよね。本当にやってよかったですよ」

若い情熱的な行動があったからこそ、国の名勝「草加松原」が実現したのだった。

松並木再生の陰に若い情熱的な行動が

そんな折、驚くべきニュースが舞い込んできた。平成26年3月18日付けをもって「草加松原」が「おおくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、国の名勝に指定されたのだ。

「草加松原」は「今様・草加宿」のビジョンで



インタビュアーに快く答えてくださった岡野さんは、この号の出る直前、5月23日に急逝されました。原稿の確認は「今様・草加宿」市民推進会議の現会長 山川 仁氏にお願いいたしました。心よりご冥福をお祈りいたします。

神明庵は、草加の 新しいまちづくりの アンテナの場所

草加宿神明庵運営協議会
会長

青柳 優さん



神明庵のある風景

草加駅を東口側に出ると、400年前、江戸時代の草加宿を起源とする古い商店街、旧日光街道がある。その通りを北（松原方向）へ10分ほど散策し、正面に草加の総鎮守「神明宮」が見えてきたとき、江戸時代にタイムスリップしたような落ち付いた風情の、木造の黒い建物が出現する。お休み処「草加宿神明庵」である。

中に入ると、女性スタッフが笑顔で迎えて、お茶を振る舞ってくれる。休憩に来ているご近所さんとの間にも、自然に会話が生まれる。草加の各種観光パンフレットがあるので、手に取って散歩の行方を確認できる。おせんべいや「草加お宝かるた」や絵葉書の販売もある。

ひとしきり会話を楽しみ、草加に対するいい印象を心に刻んで、国の名勝「草加松原」目指して改めて散歩を再開する。

神明庵は150年以上前の江戸時代から建っている久野家を改築したもの。江戸の大地震や

明治の大火事、そして関東大震災、第二次世界大戦にも耐えて、生き残ってきた貴重な建築物だ。

草加市がオーナーの久野さんから借り受け、草加市と市民団体（草加宿神明庵運営協議会）が契約を交わして運営している。

平成23年（2011年）7月24日にオープンして3年、今や年間1万人が訪れる重要な拠点になっている。

草加宿神明庵運営協議会会長の青柳優さんにお話を伺った。青柳さんは「今様・草加宿」市民推進会議のメンバーでもある。

草加の結節点

「神明庵は『今様・草加宿』の目に見える成果と言えます。神明庵運営協議会のメンバー17人はほとんど今様草加宿のメンバーです。でも組織上『今様・草加宿』とは別の位置にあって、独立した動きを

しています」

神明庵の目的は来草者（草加に来る人）のための観光案内とてなしの場であり、文化交流の場であり、そして地域の集いの場であるという。実際、1時間ほど中にいる間だけでも、遠方から草加観光に来た方も休憩に寄るし、ご近所の方がふらっとくつろぎに来る。そして神明庵協議会関係者が来て青柳さんと打ち合わせを始めたりもする。神明庵の目的は十分に機能していることがわかる。

青柳さんによると、神明庵にはたまたま貴重な建造物があったので活用した、ということにとどまらない重大な意味があるという。秘密は立地にある。

「久野邸は『草加松原』と草加宿の原点である『草加旧町地区』（旧日光街道沿いの商店街）の間、ちょうど真ん中にあるわけです。つまり草加の町の結節点です」

名勝指定を受けて、今年から草加松原の松並木は観光地として急激に賑わいが増すことが予想される。となると、観光客には松並木から草

の拠点であり、起点だと思っている。僕もそれぐらいの自負がなきゃここを預かってられない」

奥の細道で

草加の精神文化のステイタスを高める

青柳さんは昭和18年生まれの71歳。事業経営の傍ら、1978年（昭和53年）に第1回が行われた草加市民まつりの実現のために奔走したのを始め、「今様・草加宿」市民推進会議には公募により参加して理事を務めるなど、長年に渡ってさまざまなまちづくり、まちおこし活動に携わってきた。

青柳さんは松尾芭蕉と草加との関わりを多くに重視する。

日本の古典名作、松尾芭蕉の『奥の細道』によると、芭蕉は深川から千住まで舟で行き、そこから歩み始め、最初に泊まったように思われる宿が草加だった。

「その日やうやう草加といふ宿にたどり着きにけり」という記述により草加が古典文学に刻み込まれている。

1989年（平成元年）が松尾芭蕉の奥の細道の旅立ち300周年だった。その節目に向けて、草加市では「奥の細道」をキーワードにした様々な事業が実施された。

「埼玉シンボルロード整備事業」の一環として、和風の太鼓形歩道橋「百代橋」が草加松原遊歩道に建設された（『奥の細道』の「月日は百代の過客にして」からとった）のは1986年（昭和61）年。

1988年（昭和63年）には「奥の細道国際シンポジウム」が開催された。1989年（平





神明庵

埼玉県草加市神明1丁目6-142
☎ 048-948-6882
<http://www.shinmeian.com/>

草加というまちも、今まさに新しいまちづくりという旅に出ようとしている。その出発点の役割を神明庵が担っているのかもしれない。

草加と旅立ち」
草加というまちも、今まさに新しいまちづくりという旅に出ようとしている。その出発点の役割を神明庵が担っているのかもしれない。

もうひとつ、青柳さんは神明宮をパワースポットにしたいと思っている。
『奥の細道』では草加が旅立ちの日なんです。江戸から出てここがスタートなんだよ。神明宮を旅立ちのパワースポットにしたい。そして、神明庵で絵馬を配布して、神明宮に掛けてもらう。たとえば受験だつて旅立ち。新しいことを願うときはまさに旅立ち」

「ここは草加の新しいまちづくりのアンテナの場所だと思う。ただし歴史性を失っちゃうとまずい。やっぱり、温故知新、古きをたずねて新しきを知る。芭蕉の言葉で言えば「不易流行」だと思ふ。不易は変わらないもの。流行は変わりゆくもの」

草加松原が国の名勝指定を受けた背景には、松並木再生の運動と、奥の細道を中心とした文化運動の両輪の駆動が必要だった。

成元年)に松尾芭蕉のブロンズ像が建てられるにあたっては、青柳さん自身が市民コミュニティ団体「草草会」の二員として市民の浄財集めに奮闘した。
「草加の精神的な文化のステイタスを松並木をきれいにすることと『奥の細道』で高めていこう」という運動がこのころから高揚してきました」
今年2月1日には「第七回奥の細道文学賞」の受賞式典が開催されるなど、草加と芭蕉の関係はますます強まっている。

アンテナショップとパワースポット

青柳さんは、神明庵はアンテナショップになるだろうと語る。



神明庵ギャラリー

神明庵の2階は、ギャラリーとなっている。柔らかな提灯の光に満たされた落ち着いた空間。暖かみのある木の梁と柱に囲まれると、時間が止まったような感覚になる。
展示されているのは、草加にゆかりのある作品だ。

演奏会や、「子ども茶道教室」「折り紙教室」などの催しものも行われている。
時間があつたらぜひ訪れてみて欲しい。



奥の細道パネル・「草加お宝かるた」展



松島ちか押し絵展



田島二人展



絵手紙サークル展

草加の元気人！ 11

社会福祉法人
草加市社会法人福祉事業団
障害福祉サービス事業所
つばさの森 前所長

宮田敏男さん みやたとしお

草加市内で開催されるイベントでよく見かける「つばさの森」コーナー。「小松菜マドレーヌ」「彩のマカローヌ」などのお菓子と、「小松菜ジュース」を販売している「障害福祉サービス事業所 つばさの森」の運営を担当しているのが、社会福祉法人草加市社会福祉事業団。その常務理事で「つばさの森」所長を務められていたのが宮田敏男さんだ。インタビューは2月。3月には役を退かれています。

草加市の計画部門から畑違ふの職場に

宮田さんは、つばさの森の所長に就任する前は草加市の職員として長年働いてきた。

「昭和46年、最初は国民健康保険の部署に入った

んです。次に財政課に行つて、それからすぐに企画に行きました。以後ずっと企画部門です。都市計画、草加市のランドデザイン、マスタープランに30年関わって来ました」

関わった仕事は多岐に渡る。松原団地西口、ハーモネスタワーや図書館などの開発も担当されたという。

そんな宮田さんが、平成21年4月、今までの計画部門とは全く畑の違う、草加市社会福祉事業団の常務理事を任じられた。同時に障害福祉サービス事業所「つばさの森」の所長に就任したのである。

草加市社会福祉事業団は、複数の福祉施設を管理運営するために草加市が100%出資して設立した社会福祉法人だ。

つばさの森とは、草加市社会福祉事業団ホームページによると「知的障がい者が社会参加・社会的自立に必要な知識、技能、態度等を通所しながら習得することを目的とし、一人でも多くの利用者が、「翼」を一杯に広げ、社会に飛び立つことができるよう支援」する施設である。「つばさの森」が行う支援は、2種類ある。就労移行支援事業と就労継続支援B型事業である。

就労移行支援事業とは、働くことを希望しそれが可能な人に、そのための訓練と職場探しや職場定着の支援をすること。

就労継続支援B型事業とは、就職が困難な人や就労移行支援でも就職できない人のために、継続的な仕事の機会を提供する支援である。

現在つばさの森には就労移行支援事業に12名、就労継続支援事業B型に75名の、合計87名が在籍している。県内では5、6番目に入る大

きな施設だという。ここではどんな活動が行われているのだろうか。

「ひとつは受注作業。二つ目が自主生産。これはお菓子と印刷、そして農作業もやっています。三つ目が外の企業に行つて仕事をする施設外作業です」

目標とする工賃は2万円かな、 と心の中で思った

宮田さんが就任してひと月たったときの保護者会で、ひとりのお母さんからこんな話があった。

「うちの娘は知的障害があるのでピアノを習わせているんです。指を動かすと知能にいいというので、できればここでもらう工賃で、この子のピアノ教室代くらいになればいいなって思っています。でも今月はそうならなかったんですよ」

それを聞いた宮田さんは考えた。

「『アノが月5千円くらいで、本人がもらった工賃は月4千円くらいだと思っんです。この子たちは平均工賃が4千円なんです。ああそういう世界なんだ、じゃあなんとか頑張ろう、と思った』
ほかの利用者の暮らしぶりも見て、工賃が上がればもっと楽になる、余裕が生まれると思つた。

「それで目標とする工賃は2万円かな、って自分の心の中で思ったのが最初の年のことなんです」
工賃を現状の平均4千円から5倍の2万円へと引き上げる、という心の中の目標が設定された。ではどんな方法で実現すればいいのだろうか。

「私はずっと市役所で計画をやっていた。計画は、



消しゴム組み立て（イワコー）作業中

それができないんですよ。構想を立てたって、計画はどういう風に立てるんですか？ だから目標の『2万円』は心に置いて、あとはもう歩かなから考えていこうと思ったんです。最初はもうそれしかないですよ」

お菓子をブランド品に変えるって

宮田さんは就任当初、他市の福祉施設の成功例を視察して、「じゃあうちでは何ができるだろう」と考えた。

「まずはうちのお菓子をブランド品に変えることだと思いました」

平成21年の草加ふささら祭りで「草加名物レシピコンテスト」が行われた。そのときの出品レシピのひとつの製作をつばさの森が依頼された。そのお菓子は見事優勝して、さらに製品化も任されることになった。

「それが小松菜マフィンです。若干味を変えて作り、『彩の国優良ブランド』の認定も受けました」
平成22年、新製品「小松菜マドレーヌ」（小松菜とごまが交互に入っている）が、パレスホテル大宮主催の埼玉県内の福祉作業所が参加する焼き菓子コンテストにおいて優勝した。

そして24年には同大会に「彩のマカローヌ」



「つばさの森」お菓子ラインナップ

「じゃあスウェーデンの方に確認します」と言っていただいた。本拠地です。そして無事にスウェーデンから「いいですよ」という回答が得られた。仕事は1日6時間、週3日間ずつ、指導員1人と利用者3人のユニットで行う。返品された組み立て家

具のパーツからいいパーツを選んで、電動ドライバーで組み立ててアウトレット家具を作り、いろいろなつたものを廃棄する作業だ。施設外作業としては、越谷の流通団地の電機メーカーヤザワで、商品となるLED電球を点検する作業も行っている。「こ」（つばさの森）での内職だけではなく、やはり企業で仕事しないとダメなんです。本

を出品して、再び優勝した。「彩のマカロー又は越谷いちごをイメージしています。埼玉ブランドの『彩のかがやき』という米の粉も使っています。ですから、商品名に埼玉の『彩』を使いました。マカロー又は、マカロン風マドレーヌでうちの造語です。優勝したのでこれもパレスホテル大宮推奨焼き菓子と名乗れます。そしてこれらも、彩の国優良ブランドの認定商品です。」

施設外作業は大きな目標

近隣の企業と契約を結び、職員と利用者でユニットを組んで企業に向いて作業を行う「施設外作業」は、企業に勤めるめるといふことで、利用者たちにとって大きな目標となる。

これらに就職を通して、マルエツの特例子会社への就職につながっている。イベントへの参加は毎年回数が増えている。平成22年度は39イベント（ちなみに1年は52週）。平成23年度は51イベント、24年度は57イベントに増えた。そして平成25年度はなんと80イベント以上になった。「毎週イベントに出ました。同日4箇所もありまして。10月、飯能市の埼玉B級グルメ王決定戦では今までの最高に売り上げました。小松菜ジュースが884杯です。全部私が1人で作ったんですよ、3台のミキサー使って。30キロの小松菜を捌きました。この日だけお菓子と合わせ18万円の売り上げでした」

心の中の目標の達成

年間総売り上げは、宮田さんが所長に就任した平成21年度が約1100万円だったが、平成24年度には約2690万円にまで上昇した。そして、工賃も順調に伸びていた。「最高月では工賃が平均で2万8500円になりました。私が言っていた目標の2万円は完全

2013年「朝顔市」つばさの森ブースにて。



に超えました。全国平均が1万2000円です。今埼玉県内でも優秀なところになってきていると思います。本当に歩きながらひとつひとつ考えてこまできました」

その達成感を利用者のご家族にも確実に届いている。「先月利用者のお母さんが『うちの子25年いるんだけれど、郵便局で初めて10万円の定期預金をしました』って喜んでいました。それがお母さんの心です」

敏腕ビジネスマンのように目標達成に邁進した宮田さん。その原動力は「お母さんの心」なのかもしれない。「親は先に亡くなる。親は自分の子供が心配でしようがない。でも今はいっしょにいられるんだって、そういう気持ちでみんな手伝ってくれ。その気持ちを受けて、じゃあ何ができるかと考えるのが我々の仕事だと思ふ。そんな気持ちがあるから動けてきたのかなって思います」



障害福祉サービス事業所 つばさの森
草加市柿木町 1105-2
☎ 048-935-5678
草加市社会福祉事業団 <http://www.ssw.o.jp/>



草加レザーフェスタ 2014 冬

2月8・9日



そうか革職人会が主催する、草加の地場産業として定着しつつある「皮革」のイベント。「レザーフェスタ 2013 冬」は即売会だったが、今回は「革の動物マスコット」や「コインケース」を作ることができる体験コーナーがメイン。入り口には市内の業者で扱っている革のはぎれがびっしり並ぶ「革の小径」があり、その向こうには革で出来た1mを超える巨大ティベアが展示されていた。

草加市の小学校では、全員がおせんべい焼き体験をしているが、この革の動物マスコットもぜひ定番にして欲しいと思う。

節分祭 (草加神社)

2月3日



「節分の日」の恒例行事である豆まき。草加神社では長らく実施されておらず、今年80年振りに復活した。「古式復活 追儺神事節分祭」。午後3時からだったが、境内には30分ほど前から人が大勢集まり、本殿前は入場制限。豆まきは何回か人が入れ替わり、豆に加えて駄菓子もたくさん空を舞った。来年はもっと大勢の人が、幸運を求めて訪れるだろう。



そうかいちば ゆったり爽日市庭

2月23日



去年9月21日に、草加駅東口のTSCボードステージで開催され、「美味しいもの・楽しいこと・いいもの・良い音で心も体も笑顔 日常を忘れるようなゆったり上質な時間を過ごしていただけたら」というコンセプトで大成功したイベント。今年2月23日にも開催されて大賑わい。

深緑色のテントと、ゆっくりできるテーブルと椅子。心地良い音楽と美味しい食べ物。前回より品揃えも量もパワーアップして、時間いっぱい楽しめた。

Tete cafe (蒲生 焼き菓子) / Kopi Luck (オーダー焙煎珈琲専門店) / TANGIERS CAFE / SAPPHIRE SALOON / Bharat Metha + ChaviPelto (コラボ料理) / Flapjack's (ヒレカツなど)

草加松原太鼓橋ロードレース大会

3月16日



開会式にはダブルパリポリ君が登場して話題に

▼ team 清門



第3回目を迎える市内エリアを走るロードレース大会。スタート・フィニッシュ会場(草加小学校)が駅から近いこと、名勝となった「草加松原」や太鼓橋を通るバラエティにとんだコースが特長で、だんだん知名度も上がってきた。

今年のゲストはボクシングWBA世界スーパーフェザー級チャンピオン内山高志選手。

応援合戦のメイン会場ともいえる左岸広場では、小中学生を中心とするよさこいチーム



「team 清門」、ご当地アイドル「おSENちゃんが〜るず8」、「草加どどん鼓連盟」がランナーを迎えた。

参加のおみやげ「草加せんべい詰め合わせ」も、ランナーの評判が良かったようだ。

空島 お好み焼

清門町 276

ご予約/テイクアウト: 048-944-7588

江戸前 新田金寿司

魚にこだわり
水にこだわり
米にこだわり
酒にこだわる

伝統の寿司から創作寿司、一品料理からコース料理まで幅広くご用意しております。創業35年の味をどうぞご賞味ください。

草加市金明町 473-10
tel 048-942-5381 fax 048-943-6538

ちゃんこ鍋なら

食寮 旭道山

草加市清門町 256 ☎ 048-943-5589

東武スカイツリーライン新田駅西口 徒歩 16 分
17:00 ~ 23:30 L.O.23:00 (2月~10月木曜定休)

広告募集中!

「草生人」本誌への広告を募集しております。詳細はメールでお問い合わせください。
soseijin@asymos.com

TSUBONE

ユウテイさんの食パンを使ったサンドイッチ、水素還元水を使ったおいしい珈琲、【はちのす産産】のオリジナル手作りカップで、ゆったりとした時間をぜひどうぞ

林さんが作った シフォンケーキ
珈琲・紅茶とセットで 550円!
毎週味が違います!

美味珈琲 ツネ
草加市金明町 375-30 ☎ 048-932-1528
営業時間: AM8:30 ~ PM8:00
定休日: 日曜・祭日

草加の2014年1月～3月

日	おもなイベント（できごと）	場所
1月1日	元旦ラジオ体操	松原遊歩道
1月1日～7日	七福神めぐり	
1月13日	未来への扉を開く 新成人のつどい（成人の日）	獨協大学
1月15日	草加駅東口駅前広場の駐輪 全面禁止スタート	
1月21日	チャレンジショップ「ohana（オハナ）」オープン	
1月25日～27日	学校給食展	草加市文化会館
1月26日	歌とダンスのファンタジーV「モモタローの大冒険～おとぎの世界をめぐって鬼アイランドへ～」	草加市文化会館
2月1日	奥の細道文学賞 表彰式／ドナルド・キーン氏と黒田杏子氏記念対談	アコスホール
2月1日	中央図書館古本市	草加市立中央図書館
2月1日～3月9日	ひな人形、三大つりひなと源氏物語貝合わせ展	歴史民俗資料館
2月2日	ドレミファそうかコンサート	草加市文化会館
2月3日	節分祭	草加神社 他
2月8日	降雪 16cm	
2月8日・9日	草加レザーフェスタ 2014	草加市文化会館コミュニティ棟
2月9日	草加ミュージック・フェスティバル	草加市文化会館
2月14日	降雪 20cm	
2月16日	市民音楽祭 吹奏楽フェスティバル	草加市文化会館
2月23日	ゆったり爽日市庭	草加駅東口 TSC ボードステージ
2月23日	市民音楽祭 器楽の部	草加市文化会館
3月1日	スポーツ講演会 - カーリング女子日本代表チーム -	草加市文化会館
3月2日	市民音楽祭 合唱の部	草加市文化会館
3月16日	草加松原太鼓橋ロードレース大会	
3月23日	ムーンライトコンサート	中央公民館

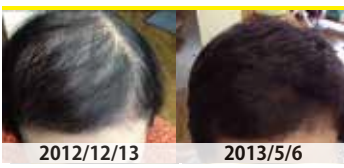


1月の一番大きな出来事は、個人的には「ついに」という言葉がぴったりの、「草加駅東口駅前広場の駐輪禁止」だと思う。15日の午前中、広々とした駅前広場が姿を現したのには感動した。しかし、あれだけの自転車はどこに行ってしまったんだろう。人ごとながら心配である。分散された有料の駐輪場だけでは、とうてい収まらないと思うのだが。2月に入って大雪2回。皆さんは雪だるま、作りましたか？



抜け毛110番

髪がふさふさの時は何とも思わなかったのに、うす毛になると「もう取り戻せない、とあきらめていませんか？



髪を取り戻す方法あります！

髪を綺麗にしてくれる美容室は、あなたのまわりにたくさんあります。しかし、髪を取り戻してくれる美容室は他にありません。



手遅れになる前に今すぐご相談下さい！私があなただけの力になります！！

ビリーブ・ヘアデザイン
予約優先制 048-922-4035

営業時間
平日 10時～20時（水12時～22時）
日祝 10時～19時
定休日 火曜日／第1・3水曜日

草加市高砂 2-20-6-1F



DINING BAR 3D
☎ 048-924-8800
<http://bar-3d.net/>
草加市氷川町 2104-17
VIP ルーム 6F

貸切イベント、宴会、ママ会、サークルの集まり、合コン etc！！幹事さんと協力のもと各イベントを盛り上げます！予算、人数、料理細かいことまでご相談ください。

和彩 清水や

草加市神明 1-1-6 ☎ 048-924-2051
草加駅東口から徒歩8分
草加小学校の先の源兵衛せんべいの向かい
旬の食材をおてごろな価格で提供させていただきます。

応援ありがとうございます サポート会員の皆様

大橋欣之様
室永喜久様
山川百合子様
広沢誠様
正木裕子様
戸田直斗様
清水綾乃様
西村昌巳様
佐野嘉則様
富田典明様

茂垣行信様
小林伶代様
おるがん様
須永賢治様
関根利幸様
林一男様
高島暁里様
瀬戸健一郎様
染野政夫様
炭之原治様

藤家美栄子様
中島清治様
原田正夫様
大江啓之助様
宮原弘様
星博昭様
田口大様
小野良一郎様
高橋かおる様
関一幸様

月々思々

まず最初に、「今様・草加宿」をテーマにするにあたり、インタビュを快く受けて下さった、「今様草加宿」市民推進会議の前会長 岡野喜一郎氏が、この号の発行直前に急逝されたことをご報告しなければなりません。インタビュでは、「今様・草加宿」のことだけでなく、これからの草加市についても明るく語ってくださいました。市内のさまざまなまちづくり団体に関わり、ある関係者の方は「草加市の方向を照らす太陽や北極星のような方だった」とおっしゃっていました。この号の編集製作が、さまざまな事由で遅れてしまい、ご確認いただけなかったことが残念でなりません。心から哀悼の意を捧げます。

さて、改めて今号の発行の遅れについて、読者のみなさまに深くお詫びいたします。説明はブログやメルマガでの説明に譲りますが、ここではひとっだけお伝

えしたいと思います。

発行ペースがダウンしていますが、「草生人」は今後もフリーペーパーとしてしっかりと続きます。続けていきます。

前号でお伝えした「サポート会員」には、30名以上の方がご協力くださいました（ありがとうございます）。まだ応援システムとしては未熟ですが、今後も引き続き、読者のみなさまにご協力をお願いしたいと考えています。

もし、応援をしていただけるとすれば、「サポート会員」をご検討ください。第1期は「草加風景カレンダー」を差し上げていましたが、2期は新たに企画を考えています。

6月中には、Webサイトのリニューアルをする予定です。これからもどうぞよろしく願います。

サポート会員を募集しています

1口 1,000円

- ・第2期となります。
- ・お名前（ペンネーム等でもOK）を本誌に掲載させていただきます。
- ・今後発行する「草生人」3号分をご自宅までお届けします（郵送）。
- ・プレゼントは現在準備中です。

お支払い方法等、詳しいことは、後日Webページに掲載します。それまではお手数ですがWebページからお問い合わせください。

▼1期のサポート会員カード



草生人 Web
【草生人】で検索！

地球にやさしいランドセル
ご予約開始!
ランドセル全品30%OFF
ご予約期間：2014年5月24日～8月31日
商品無くなり次第終了です。
お早めどうぞ!
お店：清門町446-2
電話：048-941-5681
パンフレットのご請求・お問い合わせは

美味しい珈琲で
くつろぎのひとときを
炭火煎珈琲
平
あげたおにぎりにカニあんかけ。
やさしい味の
「オランダおにぎり」をどうぞ。
平日・土曜 8:30～19:00 日曜・祝日 10:00～19:00 水曜日定休
草加 2-20-13 (草加市立病院近く) ☎048-944-1130

L&C あなたの生活と
企業の繁栄を
アシストします。
代表社員 税理士
長谷部 健一
代表社員 税理士
藤波 篤史
税理士法人 Life & Company Assist
L&Cアシスト
〒340-0014 埼玉県草加市住吉1丁目4-12-101
Tel:048-924-9244 Fax:048-924-2554 http://www.townnavi.net/l&c-assist/
e-mail: hasebe-ken@tkcnf.or.jp

ラーメン・中華料理・定食類
中華 珍楽
出前承ります
ウマニソバ 回鍋肉定食
048-924-0080
草加市氷川町2124-2
草加駅西口店
12時～2時 / 6時～10時
火曜日定休